

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成29年3月1日

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目 10 番 31 号 電話 093 (541) 2409 番

母の願いと息子の涙

白き蓮華のひらく刻

ある先生が、広島山奥に行かれた時のお話です。小さな小屋になっているバス停に座って、めったにこないバスを待っていますと、母親と息子とおぼしき二人連れがやってきます。息子は、のどかな風景にはそぐわない風体で、髪を真っ赤に染めて鼻にピアスをし、肩から大きなバックを背負っていました。母親は、ちびた下駄を履いて息子を率いるように歩いてきましたが、少し疲れた顔を息子に向けながら、きつい口調で息子に喋りかけています。

聞くとはなしに聞こえてくる会話の内容からして、どうやら、就職のために村を出て行く息子に対して、母親がこまごまと注意をしているようでありました。先生の耳にも、

「ええか。職場の方のいうことをよく聞くんじゃよ」

などと、母親の声が聞こえてきましたが、息子はというと、一言も応えず「プイッ」とあらぬ方向を見ている。母親は、それでも息子に向かって、

「朝はちゃんと起きて、朝ごはんを食べなあかんぞ」

と声をかけ続けています。

やがてバスがきて、先生は先にバスに乗り込んで席に着いたのですが、後から乗ってきた息子に向かって、母親は後の乗車口の階段に片足をかけて、なおも、

「何があっても辛抱するんやぞ！」

と声を浴びせています。母の声から逃れるように、前方の席に座った息子は、相変わらず「プイッ」と横を向いていました。

ところが、バスが動き出した瞬間、なんと下駄を鳴らしながらバスを追いかけて来た母親が、バス前方の窓際の息子にこう叫んだのでした。

「辛くなったら、いつでも帰ってくるんじゃぞー！」

と。

先ほどまでのいいようとまったく違ってきます。今までの生活態度をあらためて、職場の方のいうことをよく聞き、辛抱して仕事に専念するようにと、こまごまと注意をしていた母親でありましたが、いよいよ最後の別れとなった途端、今までとは全く違う本音が飛び出てきたのです。それは、息子のありのままをそのまま受け入れている母親の慈愛の心でありました。息子の目にたちまち涙が溢れてきたのを先生は見逃さなかったそうです。

仏さまの慈悲の心とは、この母親のように、あるがままの私をそのまま受け入れるものであって、その心に触れた時、この息子のごとく、私の心に変化が起こるに違いありません。

2016.11月より2017.2月まで

正善寺トピックス



伝灯報告法要 荘厳



2016.11 伝灯報告法要参拝 京都 西本願寺



2016.11 報恩講法要

御影堂にて
本願寺内の飛雲閣見学

世界遺産一字治平等院鳳凰堂
源光庵 紅葉を満喫！！



2016.12



恒例の忘年会



2017.2 かすみ草の会例会・絵手紙挑戦



ご 案 内

と き 平成 29 年 3 月 11 日 より 12 日 まで

春 季 彼 岸 法 要

| | | |
|-----|-------------|-------------|
| | 11日(土) | 12日(日) |
| 昼 席 | 午後 1 時 30 分 | 午後 1 時 30 分 |

講 師 (熊本市 良覚寺)

本願寺派布教使 吉村 隆真 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

3月7日(火)法要準備会

10:0より15:00まで

彼岸法要の準備、本堂のおかざり、納骨堂の清掃等を行います。

昼食用意しています。たくさんのご参加をお願いします。

願われていた

養われ

亡き人に

わたしが

思っていた

しずめると

なぐさめ

亡き人を

今月の掲示板



「小倉親鸞のつどい」ご案内

あなたがいるからあったかい

シンガソングライター 二階堂和美 コントラバス ガンジー
節 談 説 法 葦原理江

日 時 29年3月8日(水) 14時開演 16時閉演

会 場 リバーウォーク北九州 北九州芸術劇場大ホール

入場券 500円 お寺にあります。

参加制限ありません。どうぞお誘いあわせの上ご参加ください。



行事ご案内 【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

4月8日は「お釈迦様の誕生日」みなでお祝いしましょう

花まつり・甘茶接待

【日時】4月8日(土)午前11時より午後16時まで【会場】正善寺・神岳保育園玄関前
同日 午後 2 時より 4 時頃 小倉仏教会主催 旦過丸和前にて開催

初参式 (しょさんしき) 正善寺本堂にて

【とき】 6月4日(日) 午前11時開始

小さいお子様がお寺の仏様の前で初めてのお参りをする儀式です。最近生まれたお子様はぜひ参加しましょう。家族でおいで下さい。お待ちしております。

次回の法要のご案内 永代経法要

【とき】 6月3日(土) 昼席・6月4日(日) 昼席 (昼席2日間)

【講師】 当山 正善寺 住職 酒井光義

準備会予定 5月31日(水)10:00~15:00

編集後記

梅の花の香り、陽の光に春の訪れを感じます皆様お元気でお過ごしでしょうか。お寺の保育園では今年も年長組のこどもたちが卒園記念として仏様の絵を描いてくれました。24人のこ

どもたちが描いたそれぞれの仏様はにこやかにやさしく笑っておられて、あかちゃんの時から保育園生活の中でこどもたちを見守ってこられたほとけさまの慈しみはこどもたちの心にこんなにもにこやかな顔として映っていたのだとうれしく思い、そして「どんな時もあなたと一緒にだよ」と見守って下さる仏様にこどもたちがであえたことの喜びに手をあわせていただいています。「散ってすがれたたんぽぽの 瓦のすきまにだァまって 春のくるまでかくれてる つよいその根は眼にみえぬ 見えぬけれどもあるんだよ 見えぬものでもあるんだよ」(金子みすゞ星とたんぽぽより)「見えぬもの」いのち、やさしいところ、かなしいところ、どきどきするところ、がんばる力・見えるものよりも見えないもののほうが価値があることを、見えないものにきずくところが素晴らしいということをほとけさまのおそばで育った子供たちにさいごのプレゼントとして送りたいと思います。そして私自身もぶれることなく、ご門徒様の声、先にお浄土に往かれた先達のお声、こどもたちの心の声を受け止められるよう大切な一瞬一瞬をみつめていきたいと思う三月の尊い月です。

春のお彼岸、どうぞお寺にお参りください。心よりお待ちしております。季節の変わり目です。くれぐれもお体大切にお過ごしくださいませ。 合 掌